

今年の夏は
本を読もう！

新しい自分に出会う夏

『ぼくたちの卒業写真』



天川 栄人／作
くまおり 純／絵
文研出版
¥1600

北中学校
I先生の紹介

人付き合いが苦手な蔵木は人気者の星野から卒業アルバムを自由に撮らないかと誘われる。不本意ながらも撮影を引き受けるが、撮影を通して同級生たちの意外な一面に触れていき、星野自身のある秘密を知ることになる。

『SSRチルドレン』



百舌 涼一／著
講談社
¥1650

松崎中学校
N先生の紹介

「猫>いいばあ>子ども」。超少子高齢化社会の中で、それぞれの家庭環境に悩みながら生きようとする子どもたちの成長を描いた作品です。今の社会と自分たちの未来について考えるきっかけになる一冊です。

『聞こえない羽音』



舟崎 泉美／作
小学館
¥1300

感音性難聴と診断された中2の花音。授業や友だちとの会話が聞きとりにくいし、何より大好きなバドミントンができなくなってしまう。絶望のふちに突きおとされた花音だったが、デフバドミントンと出合い…。

『ぶたのしっぽ』



海緒 裕／作
嶽 まいこ／絵
講談社
¥1400

南中学校
K先生の紹介

黒髪の綺麗なロングヘア、趣味は編み物。今、頭の中に浮かんだのは女の子ですか？男の子ですか？あなたの普通は他の人の普通なのか、自分らしさとはなにかを考えさせられる本です。

『中三・ラブソディ』



花里 真希／著
講談社
¥1500

季里が3歳の時、父が突然いなくなった。父はクイーンの「ボヘミアン・ラブソディ」をいつも聴いていた。中3の季里が合唱コンクールの練習で困っていた時、突然フレディ・マーキュリーがイマジナリーフレンドとして現れて…。

『灰とダイヤモンド』



東 曜太郎／作
中島 花野／絵
岩崎書店
¥1500

東中学校
T先生の紹介

時は1946年。敗戦後の日本。全てが焼け、灰になった。しかし、残った者は生きねばならない。東京新橋に巨大なヤミ市が生まれる。孤児である少年少女たちは灰の中からダイヤモンド（希望）を求め冒険の旅に立つ。

『花の子どもたち』



小手鞠 るい／作
フレーベル館
¥1500

荒牧中学校
I先生の紹介

日本での多様性とは、まず日本人が存在し、それとは異なる人たちを受け入れましようという考えだった。でもここではそうではない。多様性とは、はじめから、ここにあるものなのだ。考えさせられる一冊、ぜひどうぞ。

『メイジー・チェンのラストチャンス』



リサ・イー／著
代田 亜香子／訳
作品社
¥2200

中国系アメリカ人の少女メイジーは、母の故郷で祖父母のレストランを手伝いながら夏休みを過ごす。移民の料理人ラッキーの苦闘の物語に、家族の絆を大切に思う。そんなとき、店に大事件が…。ニューベリー賞オナー賞受賞作。

『ぼくのシェフ』



長谷川 まりる／作
西村 ツチカ／絵
くもん出版
¥1500

奇病が国に広がる2年前、有名シェフの息子シャルは貧民街で暮らす男の子・アズレと出会う。シャルはアズレに料理と字を教え始めるが…。料理をテーマに描く、少年たちの友情と命の物語。登場する料理のレシピ付き。

『真昼にも星が光ると知ったのは』



梨屋 アリエ／作
ポプラ社
¥1600

笹原中学校
F先生の紹介

普通に生きるって、自由に生きるって、どういうことだろう。時に「障害」とくくられてしまう、自分自身の難しさやお互いの個性を、もっともっと知っていきたい。あなたの周りにある「真昼の星」に気付く本です。

『アリゲーターガーは、月を見る』



山本 悦子／著
理論社
¥1500

ある晩、見覚えのある横顔を見かけ、何の気なしについて行った朔哉は、小学校の同級生だった航に再会する。航はお堀に住む巨大な外来魚アリゲーターガーに会いに来ていた…。『鬼ヶ島通信』連載を加筆し単行本化。

『震災アーカイブを訪ねる』



大内 悟史／著
筑摩書房
¥1200

西中学校
T先生の紹介

東日本大震災が起こったとき、君たちは何歳でしたか。もう生まれていましたか。東日本大震災を伝える12施設を巡るガイドブック。この本を読んで著者とともに「東日本大震災の被災地」を歩いてみませんか。

2026年 夏休みすいせん図書《中学生》

『地球変動の犯人を追って、
科学者、海にもぐる!』



佐野 貴司／著
河出書房新社
¥1540

恐竜絶滅、火山の大噴火、海に沈む幻の大陸…。地球史上のビッグイベントの謎を解く鍵は、深海にあった!? アイスランドから深海まで、地球を縦横無尽にめぐる火山学者が、地球変動のメカニズムを紐解く。

『挑戦する田んぼ』

生きものたちとお米を作る』



安田 弘法／著
岩波書店
¥1450

天王寺川中学校
N先生の紹介

みなさんは、おにぎりは好きですか?この本には、安全安心なお米を作るための農家さんの挑戦が書かれています。農業に興味がある人だけでなく、生きものが好きな人やSDGsに興味がある人にもおすすめの一冊です。

『選ばない仕事選び』



浅生 鴨／著
筑摩書房
¥900

世の中にあるほとんどの仕事を僕は知らない。だから、まだ決めなくていい。将来に悩んだり困ったりしている中高生に、仕事や働き方についての考えや、いろいろな仕事との出会いを語る。『WEBちくま』連載をまとめる。

『こうしてぼくはスパイになった』

デボラ・ホプキンソン／著
服部 京子／訳
東京創元社
¥2300



1944年2月、ロンドン。13歳のパーティは一冊のノートを拾う。それは秘密情報員になるための訓練を受けた女性のもので、後半は暗号になっていた。ノートを書いたフランス人女性が行方不明になったと知ったパーティは…。

『サヨナラは言わない』

アントニオ・カルモナ／作
加藤 かおり／訳
小学館
¥1600



12歳のエリーズのパパはフランス人、ママは日本人。4年前にママが死んでから、パパは心を閉ざしたまま。家で日本語をしゃべるのは禁止。日本のアニメを見るのも禁止。でもある日、日本からソノカおばあちゃんが来て…。

第72回青少年読書感想文全国コンクール課題図書



『君の火が
ゆらめいている』

落合 由佳／作
講談社
¥1500



『チーム・テスなら
だいじょうぶ』

カービー・ラーソン／作
クイン・ワイアット／作
杉田 七重／訳
鈴木出版
¥1700



『リュウグウの
砂に挑む』

伊藤 元雄／著
さらちよみ／絵
くもん出版
¥1600

さらにもう一冊!
世界を広げよう!

こちらもおすすめ



『運命を変えるチャンスは
なぜか突然やって来る』

今村 翔吾／著
岩波書店
¥1450



『こわされたまち』

宮川 健郎／編
汐文社
¥1800



『数の「発見」の物語』

宮崎 弘安／著
岩波書店
¥1450



『星の花』

濱野 京子／著
静山社
¥1800



『本ができるまでカラー版』

岩波書店編集部／編
岩波書店
¥1200

※表紙画像の使用について出版社確認済
※先生以外の内容紹介は[TRCマーク]による

中学校
先生の紹介



市内中学校の先生たちも読みました!
先生たちの紹介文には、このマークがついてるよ



伊丹市立図書館(本館・北分館・南分館・神津分館・西分室)
すいせん図書の貸出は7月11日(土)から

青少年読書感想文全国コンクールの課題図書および伊丹市夏休みすいせん図書は、2025年1月1日から12月31日までに発行された図書が対象です。

伊丹市立小中学校図書館教育担当者会
伊丹市立図書館